

# 調査結果からみるアフリカの最新リスクと機会

地政学的リスクが高まる中、アフリカとの向き合い方を再検討し、リスクと機会を適切に把握することがますます重要になる。

コントロール・リクス・グループ株式会社  
 パートナー・代表取締役 **岡部 貴士**

## 投資リスク・リワード指標

本稿ではコントロール・リクスとオックスフォード・エコノミクスが共同で行った調査を基に、アフリカにおける投資リスクと機会、そして今後注目すべきテーマについて解説する。図はアフリカの主要市場における投資リスクとリワード(報酬)を政治経済の観点から総合的に分析したもので、右上に行くほどリスクは高いが得られるリワードも高いことを意味する。2022年に21年と比べ良い方向に進化した主な国は、アンゴラ、コートジボワール、セネガル、モザンビーク、コンゴ民主共和国。特にアンゴラ(図)

はリワードが大きく向上しリスクも減少傾向にある。全体的にリスクの変動は少なかったが、コートジボワールだけリスクが顕著に減少するなど、一概に「アフリカ」といっても、国により状況はかなり異なる。投資対象国の国別リスク評価を行いつつ、他の国々との関係や国際情勢の文脈の中でリスク・機会を検討することが重要だ。

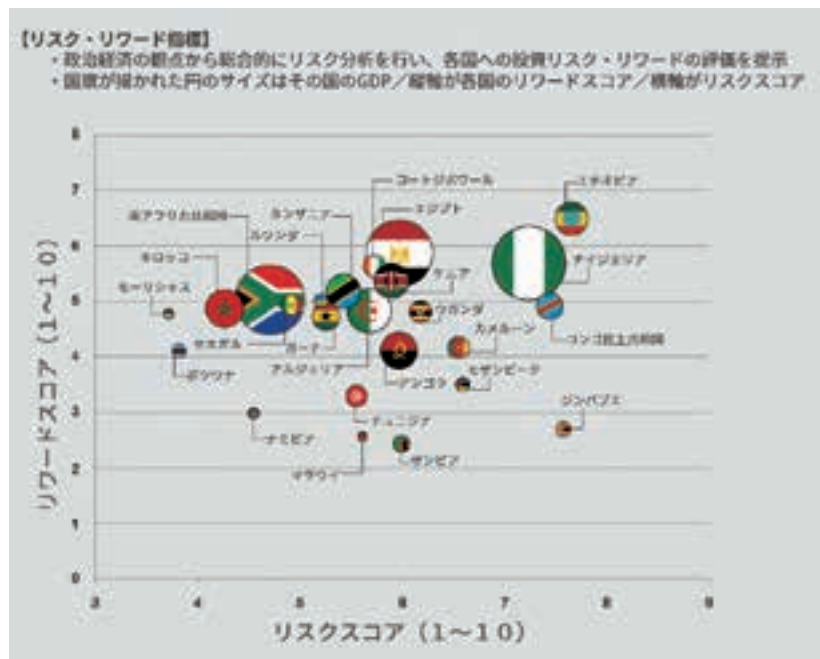
※国別前年比など詳細はコントロール・リクスWEBページ(QRコード)を参照してください



## 世界のエネルギー転換期の中で

アフリカにおけるリスク・機会を考える上で

注目すべきテーマの1つは「エネルギー」。深刻化する気候変動を背景に脱炭素へのエネルギー転換が求められる中、ウクライナ戦争を発端としたエネルギー危機を背景に、他地域へのエネルギー供給源としてアフリカの石油埋蔵量への国際的な関心が高まっている。また、風力、太陽光、地熱、水力発電の高い潜在力がある。多くのアフリカ諸国はすでに



(出所：コントロール・リクス・グループ)